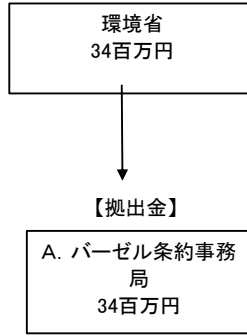


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>		コンピュータ機器廃棄物適正管理事業等拠出金		担当部局庁	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>		平成18年度・継続		担当課室	適正処理・不法投棄対策室		適正処理・不法投棄対策室長 吉田一博		
<b>会計区分</b>		一般会計		施策名	4-5 廃棄物の不法投棄の防止等				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>		-		関係する計画、通知等	パーゼル条約 締約国会議				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>		本事業は、コンピュータ機器廃棄物・電気電子機器廃棄物の環境上不適正な管理による環境被害・健康影響を防ぐために、これらの廃棄物の環境上適正な管理構築に向けた、途上国における国内・地域プロジェクトの執行を通して、能力開発・意識啓発を行い、法制度の整備や適正な管理体制の実施を目的としている。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>		コンピュータ機器廃棄物適正管理事業においては、各プロジェクトグループで作成している使用済みコンピュータ機器の修理・改修等のガイドラインの最終化を行うことを目的として、コンピュータ機器廃棄物適正管理事業等拠出金を活用し/パートナーシップ会合を開催した。また、暫定版のガイドラインを使用したパイロットプロジェクトについても計画を行っている。 また、コンピュータ機器廃棄物に関連した電気電子機器廃棄物プロジェクトについては、各国プロジェクトの計画・執行、アジア地域ワークショップを開催し、アジア各国のパーゼル条約や電気電子機器廃棄物担当官に対して、法的・技術的な情報の共有を行った。							
<b>実施方法</b>		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算	39	37	34	32	32	
			補正予算	0	0	0	0		
			繰越し等	0	0	0	0		
			計	39	37	34	32	32	
		執行額	39	37	34				
執行率(%)	100	100	100						
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
		本拠出金は、コンピュータ機器廃棄物等の環境上適正な管理の強化や、アジア地域における廃棄物政策担当者等の能力向上等を成果目標としているため、数値化することは困難である。		成果実績	数				
				達成度	%				
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		プロジェクト数		活動実績 (当初見込み)	数	4	4	4	4
<b>単位当たりコスト</b>		5万ドル/プロジェクト		算出根拠	予算額/プロジェクト数				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	経済協力開発機構等拠出金		32	32					
	計		32	32					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>コンピュータ機器廃棄物や電気電子機器廃棄物におけるパーゼル条約締約国のニーズに基づく、継続的な技術的・資金的な支援を行うだけでなく、パーゼル条約締約国会議における優先順位が高く我が国の国益に結びつく決議に基づく活動に対して、拠出金を活用し新たな取組を行うことは重要であるとともに、同じ予算の拠出金で更なる成果を出すことができる。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		<p>拠出金の効果と使途に留意しつつ、引き続き、必要最低限の拠出となるよう検討を進めること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		-	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



[平成22年度コンピュータ機器廃棄物  
適正管理事業等支援]

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)(単  
位:百万円)

A.バーゼル条約事務局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
抛出金	平成22年度コンピュータ機器廃棄物 適正管理事業等支援	34			
計		34	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごと  
 に最大の金額が支出され  
 ている者について記載す  
 る。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように  
 記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入 札 者 数	落 札 率
1	パーゼル条約事務局	コンピュータ機器廃棄物適正管理事業等	34	拋出金	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					